

燃費測定モードについて

平成 23 年 4 月より、「乗用自動車の性能の向上に関する製造事業者等の判断の基準等」及び「貨物自動車の性能の向上に関する製造事業者等の判断の基準等」が改正され、自動車のカタログ等における燃費値の表示方法が一部変更されます。

変更される燃費表示方法や自動車の燃費値の測定方法等について、皆様からいただくご質問への回答を下記のとおりまとめました。

Q & A

Q1 2011 年 4 月以降、燃費の表示はどのような？

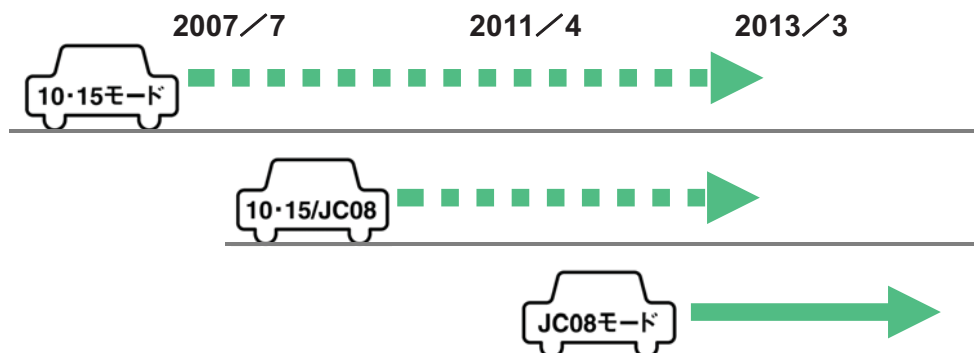
A1 2011 年 4 月以降に型式指定を受ける自動車に対し、「JC08 モード燃費値(国土交通省審査値)」をカタログ等へ表示することを義務付けます。現在既に販売されている自動車(継続生産車)についても、2013 年 2 月末までに、JC08 モード燃費値を表示することを義務付けます。したがって、2013 年 3 月以降は、全ての自動車のカタログに JC08 モード燃費値が表示されることとなります。

なお、2011 年 4 月以前に型式指定を受けた自動車でも、前もって JC08 モード燃費値を表示している自動車も多くありますので、4 月 1 日に大きく変わるものではありません。

現在、全ての自動車のカタログに10・15モード燃費が記載されています

自動車のカタログに10・15モード燃費とJC08モード燃費が順次併記されていきます

2013年3月以降、全ての自動車のカタログにJC08モード燃費が表示されます



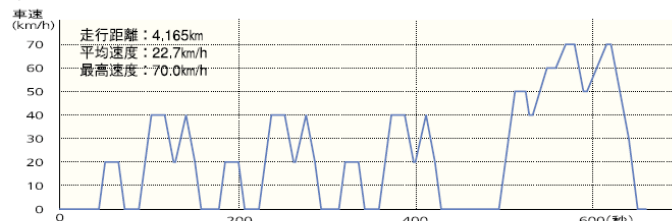
10・15 モードから JC08 モードへの移行スケジュール

Q2 JC08 モード(10・15 モード)って何？

A2 自動車の燃費値は、気象条件や渋滞等の使用環境や、急発進、エアコン使用等の運転方法に応じて異なるため、車種間で燃費値を比較するためには、一定の測定方法が必要です。そのため、国土交通省では、1991 年に燃費測定方法として 10・15(じゅうじゅうご)モードを定めました。10・15 モードは、策定当時のユーザーの自動車使用環境をもとに走行パターンを定めており、現在まで使用されています。

しかし、ユーザーの使用環境の変化や測定技術の進歩を踏まえ、より実際の走行に近づけるため、2011年4月より、新たな測定方法としてJC08(ジェイシーゼロハチ)モードを導入します。JC08モードでは、実際の走行と同様に細かい速度変化で運転するとともに、エンジンが暖まった状態だけでなく、冷えた状態からスタートする測定が加わりました。既に一部の自動車は、JC08モードで測定した燃費値の審査を受けて、JC08モード燃費値をカタログ等で表示しています。

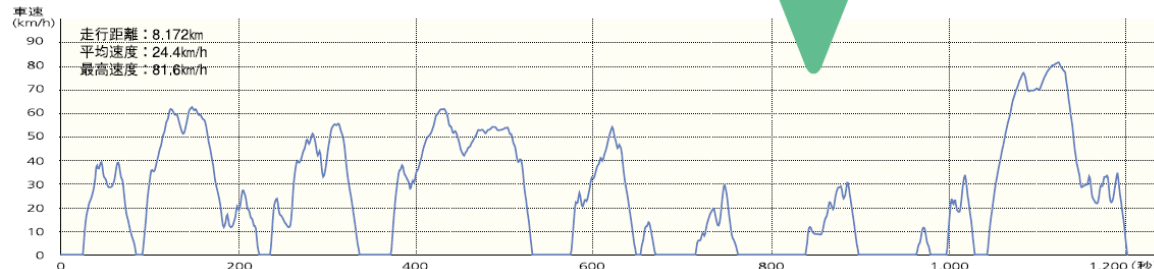
◆10・15モード走行



<JC08モード走行の特徴>

- ・ 実際の走行と同様に、細かい速度変化で運転します。
- ・ エンジンが暖まった状態だけでなく、冷えた状態からスタートする測定が加わります。

◆JC08モード走行



10・15モード走行及びJC08モード走行

Q3

カタログに書いてある「国土交通省審査値」とはどういうこと？

A3

燃費値の審査は、自動車の型式指定審査時に行われます。型式指定審査において、規定どおり測定された燃費値であることが認められた燃費値が、「国土交通省審査値」として自動車のカタログ等に記載されています。

型式	DBA-JA1	
ミッション	CVT	
車両重量	1,080 kg	1,090 kg
燃料消費率(km/L) 10・15モード走行 (国土交通省審査値)	21.0	
燃料消費率(km/L) JC08モード走行 (国土交通省審査値)	19.2	19.0

10・15モード燃費値とJC08モード燃費値を併記したカタログの例

Q4

10・15 モード燃費と JC08 モード燃費の差はどのくらい？

A4

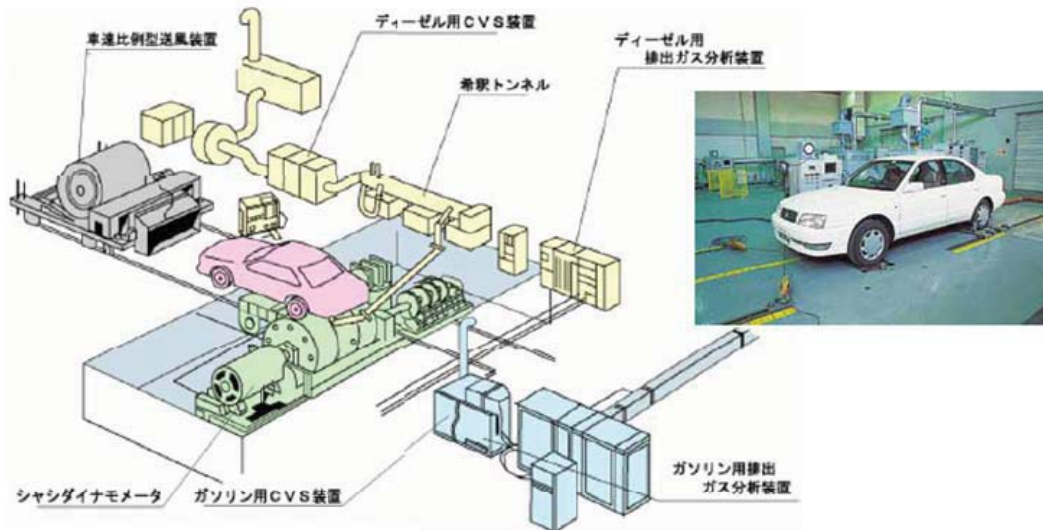
車両によって異なりますが、一般的に JC08 モード燃費の方が 10・15 モード燃費より概ね 1 割ほど低くなる傾向があります。

Q5

燃費はどのように測定しているの？

A5

自動車の燃費値は、国土交通省の定めた方式(10・15 モード及び JC08 モード)で、審査機関(独立行政法人 交通安全環境研究所)において測定しています。市街地や郊外での走行を想定した一定のパターンで走らせ、燃料の消費量から、1リットル当たりの走行距離、つまり燃費を算出します。ただし、実際に車を走らせるわけではなく、試験場のシャシダイナモメータ(測定器のローラー)に車を載せ、車両重量毎に負荷重量を変化させた上で、その場でタイヤを回転させて、燃費を測定しています。



シャシダイナモメータによる燃費測定方法

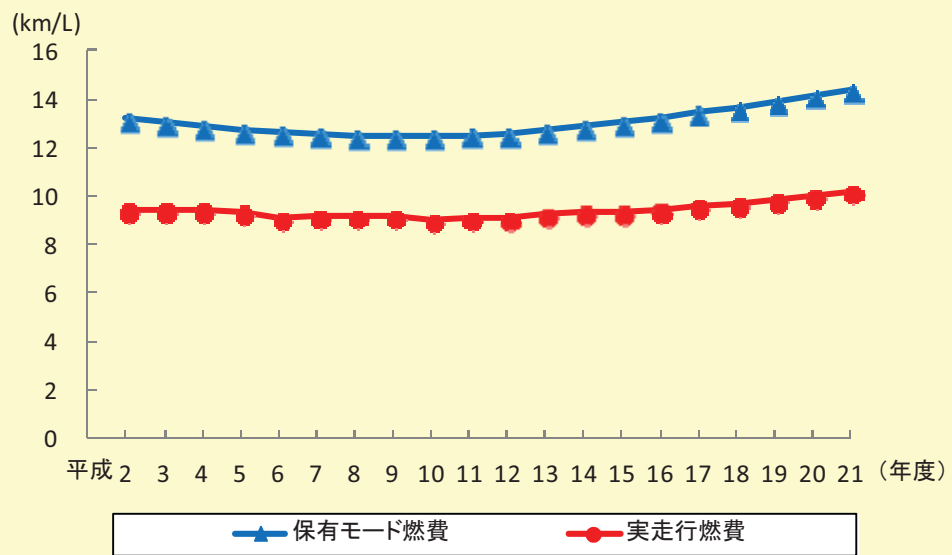
Q6

カタログに記載されている燃費値と実走行時の燃費値が違うのはなぜ？

A6

自動車の燃費は、気象条件や渋滞等の使用環境や、急発進、エアコン使用等の運転方法に応じて異なります。燃費測定モードは、自動車の燃費性能を比較するために一定の走行状態を定めて測定している一つの指標です。このため、カタログに記載されている燃費値と実走行時の燃費値は必ずしも一致しません。

一方で、カタログ燃費値と実走行燃費値との乖離をできるだけ小さくすることは重要ですので、国土交通省では、2011 年 4 月より JC08 モードを導入するとともに、今後とも、燃費値のよりよい測定方法、公表方法の検討を続けて参ります。



注)

1. 「保有モード燃費」は、各年度末に保有されている車両の車令別の販売モード燃費を、各車令の保有台数で加重して調和平均したもの
2. 「実走行燃費」は、走行量を燃料消費量で除したもの
3. 平成21年度の実走行燃費値は速報値

ガソリン乗用車の平均燃費推移(10・15モード燃費)(出典:日本自動車工業会資料)